

# 平成29年度 第1回四万十町人づくり委員会

## 【 次 第 】

### 1. 開会

### 2. 委員長挨拶

P1～P5

### 3. 四万十町長挨拶

### 4. 議事

#### 1) 平成29年度事業報告について

・ 未来塾（四万十町高校応援大作戦他） … P6～P8

・ 四万十塾（イノベーター養成講座他） … P9～P12

・ 産業振興塾（農業者ネットワーク他） … P13～P15

#### 2) その他

### 5. 閉会

日時：平成29年9月26日（火） 15時～17時

場所：四万十町農村環境改善センター 大会議室



# 四万十町人づくり戦略

## 【目指す将来像】

「山・川・海 自然が 人が元気です 四万十町」

地域の特性や可能性を知り、新たな価値を創造し、志を持って明るい未来の実現に向かって挑戦する人財

## 【基本目標と施策の方向】

- ①未来塾…四万十町の未来を元気にする人財
  - ・地域の魅力や特徴を知り、愛着と誇りをはぐくむ学習活動の推進
  - ・発達段階に応じたキャリア教育の充実
  - ・家庭、学校、地域が連携し、地域の特色ある教育を推進
- ②四万十塾…四万十町の地域を元気にする人財
  - ・地域活性化の課題意識醸成の場の創出
  - ・地域リーダーの育成と住民協働体制の強化
  - ・地域間及び人財ネットワークの形成
- ③産業振興塾…四万十町の産業を元気にする人財
  - ・個々が向かうステージに合わせた支援（経営者、管理者、プレイヤー）
  - ・自発的な志向のもと目標を実現するために挑戦する人財の支援
  - ・各分野からプロフェッショナルを招き、産業人の育成を推進

育

わが町の元気をつくる  
次代の人財

活

わが町の地域を活性化  
する人財

本

わが町の産業を支え発  
展させる人財

- 【視点1】 地域に愛着と誇りを持つ
- 【視点2】 地域の活性化を目指す
- 【視点3】 住みやすい環境をつくる
- 【視点4】 教育や文化水準を高める
- 【視点5】 未来志向、世界に目を向ける

【地方創生】人口減少社会を見据えた「自律と共生のまちづくり」

## 四万十町人づくり委員会 名簿

平成29年9月現在

※任期：平成27年9月30日～平成29年9月29日（2年間）

No.	氏名	所属 (役職等)	備考
1	梶原 弘資	四万十町商工会 (青年部)	
2	武市 敏男	四万十農協 (青壮年部長)	
3	松下 敦	高知はた農協 (青壮年部長)	
4	田辺 誠進	四万十町森林組合 (大正支所長)	
5	神野 博敬	青少年育成町民会議 (事務局)	
6	南 昌宏	PTA (町P連会長)	
7	井上 和久	小中学校 校長会会長 (川口小学校 校長)	
8	森本 民之助	窪川高校 校長	委員長
9	門舛 俊也	金融機関 (高知銀行窪川支店長)	
10	佐竹 宣昭	企業 (四国デュロックファーム)	
11	渡邊 光明	企業 (株エコロギ-四万十)	
12	畦地 履正	企業 (株四万十ドラマ)	
13	山崎 直美	公募委員	
14	水田 勝隆	公募委員	
15	岡村 健志	高知大学 地域連携推進センター (地域コーディネーター)	副委員長

【未来塾】 ～わがまち四万十町の未来を元気にする人財の育成～

1. 四万十町高校応援大作戦

【目標：地元入学率 H27：34%→H31：60%】

町内高校の存続と魅力化を将来のまちの課題としてとらえ、地域や行政、関係機関との連携のもと効果的かつ持続可能な魅力ある学校づくりを目指す。

①町営塾「じゆうく。」の運営

- 事業主体 四万十町（運営委託：㈱FoundingBase+地域おこし協力隊）
- 対象者 窪川高校・四万十高校に在籍する生徒で通塾を希望する者  
四万十町教育支援センター通室生で通塾を希望する児童生徒等
- 受講料 無料
- 運営形態 （開設場所） くぼかわ：農村環境改善センター  
しまんと：大正地域振興局3階（図書館会議室）  
（曜日時間） 月～金 16:30～21:00（水曜日除く）  
土 13:00～17:00（両地域で隔週開講）
- 学習教科 国語・数学・英語・理科・社会
- スタッフ 塾長1名 { くぼかわ…団長1名+協力隊2名  
しまんと…団長1名+協力隊2名（計7名）

②生徒会活動支援事業

町執行部と各校生徒会執行部の対話による機会を通じて、生徒の意見や考え方を把握し、高校応援施策を推進し、生徒自身の意欲醸成や行政への関心につなげていく。

- 事業内容 行政懇談会の開催、生徒会プロジェクト支援等

③高等教育体験事業

高等教育機関への訪問や学生との交流を支援し、進学に対する動機づけを向上させる。

- 事業内容 大学オープンキャンパス参加、大学生との交流事業等

④教育振興会支援事業

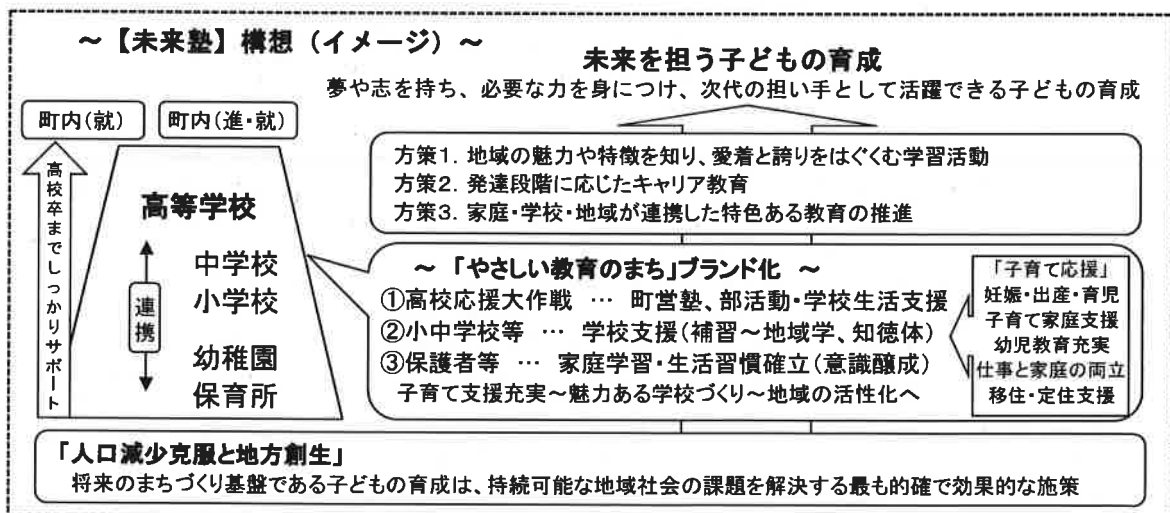
町内外の交流や研修事業、部活動及び寮運営費への助成を両教育振興会を通じて行い、保護者負担の軽減と学校生活の活性化を図る。

- 事業内容 窪川高校教育振興会補助金（農業振興会分担金）  
スタディサプリ利用料、町内外交流に係る移動経費等  
四万十高校教育振興会補助金  
交流・研修事業、部活動・専門指導員招聘事業、寮運営費助成

2. 小中学生等への支援

学力向上を柱に、児童生徒及び保護者への意欲醸成を図り、一人ひとりの夢・志を実現できる教育環境づくりを推進する。

- 事業内容 教育講演会（学ぶ意欲の醸成や多種多様な社会性を学ぶ機会提供）  
家庭内教育力の向上、スポーツ交流等（高知大学出前公開講座）  
中高連携支援（補習・総合学習、部活動支援）



【四万十塾】 ～わがまち四万十町の地域を元気にする人財の育成～

1. 地域イノベーター養成講座（仮称） [目標：地域イノベーター数 H31：20人]

地域の活性化や地域課題解決に挑戦する人材や、地域に対する想いのある人材に対して、必要な知識・技術の習得を支援するとともに、地域で挑戦し続ける人材を地域イノベーター（仮称）として認定する。

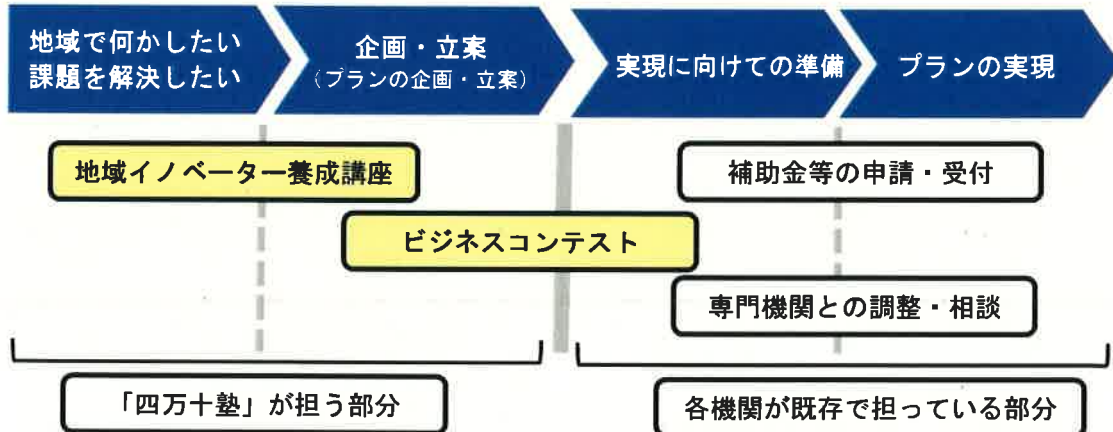
- 事業内容 課題解決や体験型を含む主体的かつ協働的な連続講座を主体とした地域イノベーター養成講座を開催
  - 事業主体 四万十町（運営委託：高知大学）
  - 対象者 四万十町内の活性化に寄与する意思のある者
  - 受講料 5,000円（町外在住者は10,000円）
  - 受講期間 6月～12月までの間（年6講座程度）
- ※「地域イノベーター」修了・認定  
⇒「(仮)地域イノベーター倶楽部」設立  
(ネットワーク形成：情報共有、政策提案、活動の場)

2. ビジネスコンテスト事業 [目標：事業プランの実施 H31：5件]

四万十町で地域課題の解決に向けて取り組む人材や、町内で創業を目指す人材を発掘・誘致することにより、地域の活性化と産業等の振興を図る。また、当該事業を実施・展開することにより、U・Iターン推進の足がかりや、町内に様々な活動に対して挑戦する風土を作ることとする。

- 事業内容 四万十町でのビジネスプラン（ビジネス部門）や地域課題の解決（イノベーション部門）をテーマとしたビジネスプランコンテストの開催
- 事業主体 四万十町（一部委託）
- 対象者 町内の地域課題解決に向けて取り組む者、又は町内での創業を希望する者やビジネスプランを有する者。
- 開催時期 1月～2月頃（ただし、応募プランの精査等を行う期間を設ける。）
- 賞金 最優秀賞 100万円 ※商工業振興助成金を予定
- 協力機関 高知大学、四万十町商工会、町内の金融機関 等
- 備考 当該事業は、地域課題の解決や創業を目指す人材の発掘・誘致、町出身者のUターンのきっかけになる事が目的であり、ビジネスプランコンテスト入賞者等の具体的な支援については、専門機関（商工会・金融機関等）に担ってもらふ。ただし、相談等については随時受付する。

(事業フェーズ) ※関係機関や既存事業との相関図



(スケジュール)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
四万十塾	▼ 塾生の募集		▼ 講座の開設 (6月～12月の間で、6回程度実施)									
ビジネスコンテスト			▼ プランの募集		▼ プランの精査・磨き上げ				▼ ビジコンの開催			

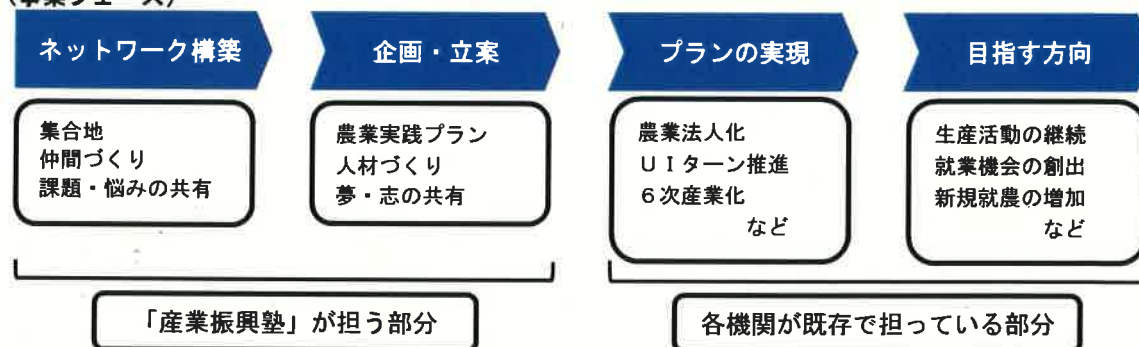
## 【産業振興塾】 ～わがまち四万十町の産業を元気にする人財の育成～

### 1. 農業者ネットワーク会議

中山間地域の暮らしや産業を守り、次世代へと引き継いでいくため、若い農業者を対象に、仲間づくりと地域産業の新たな仕組みづくりを主体的に学ぶ場を提供することにより、地域産業の担い手、地域リーダーを創出する。

- 事業内容
  - ①新規就農者等ネットワークの構築
    - ◆農業経営に関する情報交換、地域課題に関する勉強会、地元講師との勉強会など
  - ②農業実践プラン（仮称）の策定
    - ◆地域の実情や地域農業の将来像に基づく事業計画を企画立案する。
- 対象者 地域産業の後継者や将来の地域リーダーとして期待される者

(事業フェーズ)



### 2. 人材育成情報発信事業

【目標：ユーザー登録数 H31：20社】

産業人材育成のため、四万十町内の事業者等に対して、国・県・町などが開催するセミナーや研修会、人材育成に係る補助金などの情報を一元化し発信することで、町内事業者等のセミナー参加や人材育成（社員教育）を支援する。

- 事業内容
  - （発信情報）町などが開催するセミナー等の情報、人材育成に関する補助金等
  - （発信方法）HP、メール、SNS
  - （収集先）経済産業省（中小企業庁）、高知県、高知県産業振興センター  
高知大学、土佐FBC、高知商工会議所、四万十町商工会 ほか

### 3. 町内事業者人材育成支援事業

【目標：社員研修受講者数 H31：30人】

産業人材育成のため、四万十町内の事業者等に対し、社員教育の重要性について啓蒙するとともに、社員教育や人材育成計画等の策定を支援する。

#### ①経営者向けセミナー等の開催

- 事業内容 「売上アップに必要な教育方法」など、経営者の動機づけを目的としたセミナーを開催し、教育計画・方法の策定に着手する事業者を募る。
- 対象者 町内の事業所の経営者
- 実施回数 3回程度/年

#### ②専門家個別相談

- 事業内容 社員教育に関する個別相談会を実施し、職業能力開発計画などの策定を提案する。
- 実施回数 経営者向けセミナーとセットで3回程度/年

#### ③社員向け研修等の開催

- 事業内容 社会人として必要なマナーやルールに関する研修
- 対象者 町内の事業所に勤務する者
- 実施回数 年2回（5月・8月※予定）

(スケジュール)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規就農者ネットワーク	全体会議① ▼			座学① ▼		座学② ▼		全体会議②・座学 ▼				全体会議③ ▼
経営者セミナー等				セミナー① ▼	個別相談 →			セミナー② ▼	個別相談 →			セミナー③ ▼
社員向け研修		初回研修 ▼			フォロー研修 ▼							

施策1 四万十町高校応援大作戦①

概要

町内高校の存続と魅力化を将来のまちの課題としてとらえ、地域や行政、関係機関との連携のもと効果的かつ持続可能な魅力ある学校づくりを目指す。

実施状況

➤ 町営塾「じゅうく。」の運営

①事業内容 窪川高校生・四万十高校生の学力向上支援  
教育支援センター通室生への支援

②通塾生の状況

- ・通塾申請者数 くぼかわ 37名/99名中  
しまんと 30名/52名中  
教育支援センター児童生徒 4名/5名中
- ・通塾平均者数 くぼかわ・しまんと各教室とも 8～9名（4月～7月）  
※定期試験前は各教室とも15名～20名程度
- ・教育支援センター生徒 くぼかわ2名 しまんと1名  
※他の町内不登校児童生徒への働きかけも実施中



③学習内容等

・学習コース

家庭学習課題や学習内容の定着への自学自習支援＝学習の自立への取組  
国社数理英を対応するが、塾生希望は主に数英が中心

「時間割」に基づく教科別講義の開始＝学習課題を焦点化した取組

・英語コース

9月より開始。町内在住の英語アシスタント2名採用

英検準2級・2級の資格取得を目標＝学習への興味・関心の向上

参加塾生 くぼかわ3名 しまんと1名

・探究学習

くぼかわ・しまんと各教室とも2週間に1回実施＝学ぶ意欲喚起  
各回10名程度が参加

例：「3つの学問的視点（経済・心理・民俗）からみるよさこい祭り」

「あなたはまだ知らないイスラムの美しすぎる世界」

・体験型学習

「流しそうめん大会（塾生企画）」夏季休業中に両教室合同実施（60名）

「アート de アツと驚くツアー」県立美術館・絵金蔵での学習（11名）

課題・方針等

- ◎ 定期的な通塾が少ない生徒への働きかけ（面談実施等）
- ◎ 通塾の為の制約解消（汽車や迎えの時刻、部活動・アルバイトとの兼合い）
- ◎ 英語コースへの通塾呼びかけ（新規通塾生の開拓）
- ◎ タブレットPCを活用した学習（スタディサプリ）への誘導、検証
- ◎ 高校への情報提供の迅速化、正確性の確立
- ◎ 探究学習等の内容、スタッフの指導力の質向上



施策1 四万十町高校応援大作戦②	
概要	町執行部と各校生徒会執行部の対話による機会を通じて、生徒の意見や考え方を把握し、高校応援施策を推進し、生徒自身の意欲醸成や行政への関心につなげていく。
実施状況	<p>&gt; 生徒会活動支援事業</p> <p>①事業内容 H28年度実績 行政懇談会（3回）実施 生徒会プロジェクト支援等（学校ポスター作製等） ※H29年度は学校の要望があれば対応</p> <p>生徒会活動支援以外</p> <p>②H29年度 窪川高校の「総合的な学習の時間（1年生）」への参画 窪川高校1年団教員との協働による授業づくり 「地域を知り、自分の在り方を考える（17時間協働）」スタッフ4名 4テーマ：観光・移住・商品開発・駅前開発における地域活性化の学習</p>
課題・方針等	◎ 高校教職員との情報共有

施策1 四万十町高校応援大作戦③	
概要	高等教育機関への訪問や学生との交流を支援し、進学に対する動機づけを向上させる。
実施状況	<p>&gt; 高等教育体験事業</p> <p>①事業内容 大学オープンキャンパスへのバスツアー 高知大学・高知工科大学・高知県立大学・高知学園短期大学 訪問</p> <p>②参加状況 窪川高校17名（1年7名、2年5名、3年5名） 四万十高校9名（1年3名、2年3名、3年3名） 以上、延べ人数</p> <p>バスツアー以外</p> <p>③高知大学との部活動交流 大正・十和地域中高連携校と高知大学とのバレーボール部交流練習 H29年度 11月・2月実施予定（内、1回は高知大学にて実施予定）</p>
課題・方針等	<p>◎ 進路への意識付けの観点から、高校1・2年生への参加呼びかけ継続</p> <p>◎ 中学・高校・大学との日程調整</p>

施策1 四万十町高校応援大作戦④	
概要	町内外の交流や研修事業、部活動及び寮運営費助成を両教育振興会を通じて行い、保護者負担の軽減と学校生活の活性化を図る。
実施状況	<p>&gt; 教育振興会支援事業</p> <p>①事業内容（H29当初予算：単位千円） 窪川高校教育振興会補助金（予算：805千円） スタディサプリ3年生利用料（289）・町内外交流に係る移動経費等（516） 四万十高校教育振興会補助金（予算：3,142千円） 交流・研修事業等一般事業（540）、部活動・専門指導員招聘事業（2,362） 寮運営費補助（240）</p>
課題・方針等	<p>◎ 振興会事務局（高校）の負担</p> <p>◎ 振興会事務局と地域の連携、活動の活性化</p>

施策2 小中学生等への支援	
概要	学力向上を柱に、児童生徒及び保護者への意欲醸成を図り、一人ひとりの夢・志を実現できる教育環境づくりを推進する。
実施状況	<p>➤ <b>教育講演会</b></p> <p>①事業内容 学ぶ意欲の醸成や多種多様な社会性を学ぶ機会提供 中学生を対象に、挑戦している講師を招聘</p> <p>②実施状況 H28年度 「文武両道のすゝめ」(280名参加) 浜田一志先生 東京大学野球部監督・Ai西部学院塾長 H29年度 「中学、高校生の時にやっておく3つのこと」 10月13日開催予定(350名程度予定) 左今克憲先生 株式会社アグリゲート代表取締役</p> <p>➤ <b>家庭内教育力の向上・スポーツ交流等</b></p> <p>①事業内容 高知大学出前公開講座(後掲) 高知大学とのスポーツ交流(後掲)</p> <p>➤ <b>中高連携支援・小中学校加力への支援</b></p> <p>①事業内容 興津中学校学習支援 夏季休業中の加力補習を「じゆうく。」スタッフ6名が担当</p> <p>②実施状況 H29年7月～8月 18日実施(1日2時間、2人勤務)</p>
課題・方針等	<p>◎ 町教育委員会事務局・町教育研究所・人材育成推進センターとの連携強化</p> <p>◎ 保幼・小・中・高連携のための事務局機能強化</p>

【四万十塾】わがまち四万十町の地域を元気にする人財の育成

施策1 地域イノベーター養成講座	
概要	「地域のために何かしたい」「起業をしてみたいけど、まだ勇気がない」「何をして良いのかわからない」等々、そういった思いを持った方々が地域の活性化や課題解決をジブンゴトとして捉え、チャレンジし続ける人材を育成する。
実施状況	<p><b>■ 地域イノベーター養成講座</b></p> <p>委託先：高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室（須藤 順 講師）            受講生：9名</p> <p>〔第1回目〕開催日：平成29年6月25日（日）            会 場：四万十町役場本庁東庁舎1階多目的ホール</p>  <p>〔第2回目〕開催日：平成29年7月23日（日）            会 場：地域交流センターたのの</p>  <p>〔第3回目〕開催日：平成29年8月20日（日）            会 場：シェアオフィス161</p> 
課題・方針等	<p>&lt; 方 針 &gt;</p> <p>地域イノベーター養成講座は、誰かが知識や方法論を教えるのではなく、受講生一人ひとりと大学生メンターと一緒にマイプロジェクトを進め、喜びや悩み、想いを共有しながら一歩ずつ前に進んでいくことを目指す。</p> <p>&lt; 課 題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●長期的な講座となるため、受講生の気持ちを切らせないような仕掛けが必要。</li> <li>●講座運営を行う委託先の検討。</li> </ul>

## 施策2 四万十ビジネスプランコンテスト

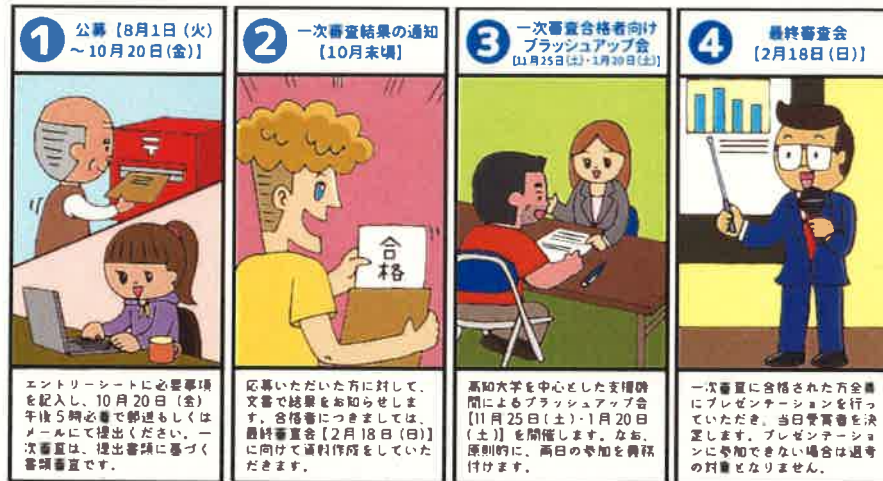
### 概要

町内の活性化や地域課題をジブンゴトとして捉え「チャレンジする人材」への支援として開催する。当コンテストは、町内で新しいビジネスや事業、その他四万十町を元気にする取り組みを行いたいと考えている方のプランを一つでも実現するために開催する。

### 実施状況

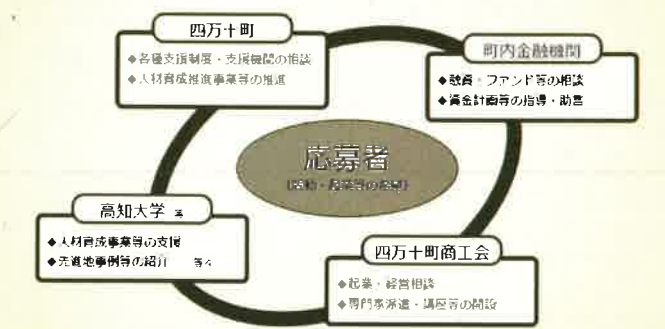
#### ■ 四万十ビジネスプランコンテスト

- 募集プラン 四万十町の活性化や地域課題解決に繋がるアイデアやサービス  
四万十町の資源を活用したアイデアやサービス
- 大賞 1名
- 賞金 活動資金として100万円（予定）
- 応募条件 自らのプランに本気で取り組むという情熱のある方
- 主催 四万十町
- 共催 一般社団法人四万十町商工会、高知大学、高知銀行、四国銀行
- スケジュール



### ○支援体制

### ビジネスプランコンテストの支援体制



### 課題・方針等

#### < 方針 >

町内で新たな活動を生み出すきっかけとなり、一人でも自分のプラン（夢）を実現できる町になるような取り組みとする。

#### < 課題 >

- 応募者の確保、応募プランを実現するための支援体制の構築



**施策3 高知大学連携事業**

**概要**

高知大学とは、①人材の育成に関すること・②高知大学の教育及び研究に関すること・③高知大学に在学する学生の地域学習及び研究機会の拡大に関すること・④四万十町の計画などに関すること等を、具体的かつ実践的に取り組む事を目的に、平成27年3月に連携協定を締結している。現在は、その協定に基づき、町民を対象とした講座や講習会の開設、地場産品等の研究等を協働で推進している。

**実施状況**

**■ 高知大学出前公開講座**

高知大学の教員等が地域に出向き行う講座で、本町では「子育て世代」をターゲットとした取り組みを行っている。

◎平成29年度高知大学出前公開講座 in 四万十町

**【第1回】「谷やん体操で学ぶ英語のリズムとイントネーション」**

高知大学教育学部 教授 谷口 雅基 先生

<日時>11月16日(木)19時~20時45分

<会場>十和地域振興局

**【第2回】「高知県とカツオ~カツオ資源の持続可能性を考える~」**

高知大学副学長 教授 受田 浩之 先生

<日時>11月20日(月)19時~20時45分

<会場>四万十町役場本庁東庁舎1階・多目的ホール

**【第3回】「子どものほめ方・叱り方~子育てに応用できる心理学~」**

高知大学教育学部 教授 玉瀬 友美 先生

<日時>11月29日(水)19時~20時45分

<会場>大正地域振興局

~~~~~

**■ スポーツ交流事業**

高知大学等の運動部と連携し、町内の中学生・高校生の競技レベルの向上と高等教育機関等への関心を深めることを目的に実施している。

◎高知大学少年サッカー教室

町内のサッカークラブを対象として、7月17日に開催。今年度は、もう1回程度開催する予定。



◎高知大学バレー教室

十川中学校・大正中学校・四万十高校のバレー部を対象として、昨年度から開催。今年度は11月以降に2回程度開催する予定。

**課題・方針等**

<方針>

高知大学等と連携することにより、高等教育機関の知見を活用した各種施策の推進と、町内の子ども達に進学等への関心をより一層深めていく。併せて県外出身者が多い学生に対し、これらの活動を通じて、四万十町のファンとなるきっかけの場とする。

<課題>

●大学との継続的な関係性の保持、事業の受け皿となる庁内組織の確保。

**施策 4 その他、四万十塾人材育成事業**

概要

地域を元気にする人材の育成をテーマとしている「四万十塾」は、「未来塾」「産業振興塾」と比べ、対象となる層が比較的幅広い。そのため、商工会をはじめとした他の団体と連携し、四万十塾を主体とした人材育成事業の推進と、これまで町が主催する講座等に参加しなかった人材等の発掘を図る。

実施状況

**40010 フィールドミーティング（商工会連携事業）**

町内の若手を対象とした事業で、参加者同士が日々の生活において、それぞれが連携できるような関係性の構築を目的に開催。今年度は、これまで3回開催している。



**go go tea（商工会連携事業）**

町内の子育て世代の女性を対象とした事業で、地域を超えた繋がりを持ち、それぞれの活動の下支えとなるような関係性の構築と、人材育成事業への呼びかけを目的に、今年度は2回開催している。

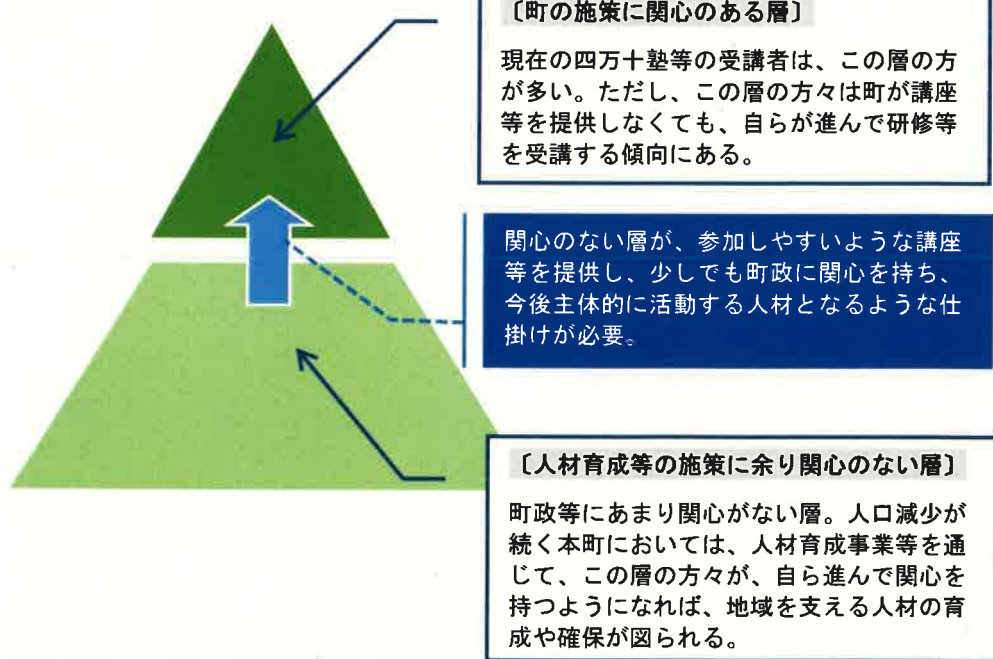
課題・方針等

< 方針 >

これまで人材育成事業を始めとしたあらゆる施策に関心のなかった層が、関心・興味を持つような仕組みと、継続的な啓発や育成を目的に、敷居の低い講座等の開設も図っていく。

< 課題 >

- 人材育成事業を受講してもらいたい人材等への参加促進
- 上記のような人材や層に対する広報宣伝



施策1 暮らし・産業継承人材創出事業

**概要** 中山間地域の暮らしや産業を守り、次世代へと引き継いでいくため、若い農業者を対象に、仲間づくりと地域産業の新たな仕組みづくりを主体的に学ぶ場を提供することにより、地域産業の担い手、地域リーダーを創出する。

**実施状況**

➤ **農業者ネットワーク** (“人と人、人と地域をつなぎ、現在と未来をつなぐ”)

参加者：34名

内訳 ※①地区別 / 郷分9, 立西2, 松葉川7, 仁井田4, 東又4, 志和1, 興津2, 大正3, 十和2

※②類型別 / 生姜12, 施設園芸9, 有機4, 花卉3, 畜産2, 露地野菜2, 椎茸1, 法人1

【第1回 農業者ネットワーク会議】

開催日：平成29年7月18日(火) 15:00~17:00

内容：グループワーク・農業経営に関する情報交換



- NWに期待すること
- ・集まりたくなること
  - ・魅力があること
  - ・参加者同士の交流
  - ・視察研修

【第2回 農業者ネットワーク会議】

開催日：平成29年9月11日(月) 13:30~17:15

内容：地元講師3名による講演・個別テーマの掘り下げ



桐島畑  
代表 桐島正一氏  
《桐島畑の作る事》



むらかみ農園合同会社  
代表社員 村上智之氏  
《むらかみ農園の取り組み》



株式会社サンビレッジ四万十  
代表 浜田好清氏  
《一集落農場方式から株式会社化》



|            |      |           |
|------------|------|-----------|
| じっくり取り組むこと | NW   | 地域商社的な会社  |
|            | NW以外 | 栽培技術の向上   |
| すぐ取り組めること  | NW   | 必要な時に人材確保 |
|            | NW以外 | 会計の効率化    |

【今後のスケジュール】

➤ 企画会議(研究会)：平成29年12月(例 販売先、人材確保、IoT技術)

➤ 第3回農業者ネットワーク会議：平成30年2月

**課題・方針等**

- ◎ 参加者の営農類型、価値基準(求めているもの)が多様であること
- ◎ A)興味のある者で研究会、B)全参加者対象の勉強会、C)関係機関等への橋渡し
- ◎ 事例を一つひとつ積み上げていく地道な活動を展開し、農業者NWの取組みの浸透と定着を図っていく。



**施策2 人材育成情報発信事業**

概要

産業人材育成のため、四万十町内の事業者等に対して、国・県・町などが開催するセミナーや研修会、人材育成に係る補助金などの情報を一元化し発信することで、町内事業者等のセミナー参加や人材育成（社員教育）を支援する。

実施状況

➤ 四万十町 HP 内に「人材育成推進センターHP」を開設（H29.9）。



➤ 四万十町役場公式ページ Facebook に投稿（随時）



地域イノベーター養成講座



新入社員・若手社員合同研修

課題・方針等

- ◎ 発信する情報の充実化（セミナー等の情報収集・掲載承諾など）
- ◎ 発信方法の工夫（関心をもって読んでいただける文章、デザイン構成など）
- ◎ 双方向の情報のやりとり（情報共有）
- ◎ 継続した取組みの展開

【参考】

- ◆ セミナー等の情報収集先（案）  
 経済産業省（中小企業庁）、高知県、高知県産業振興センター、  
 高知大学、土佐FBC、高知商工会議所、四万十町商工会 ほか



**施策3 町内事業者人材育成支援事業**

**概要** 産業人材育成のため、四万十町内の事業者等に対し、社員教育の重要性について啓蒙するとともに、社員教育や人材育成計画等の策定を支援する。

**実施状況**

**①経営力強化セミナーの開催 (共催 四万十町商工会)**

講師：吉井裕之氏（高知県事業承継・人材確保センター／中小企業診断士）  
備考：「経営力強化セミナー」→「個別相談会」→「社員研修促進事業費補助金」

**【第1回目】**

開催日：平成29年6月22日（木）  
テーマ：『稼ぐ力』（法則と戦略）  
受講者：9事業所 12名



受講者アンケート（抜粋）

- ・専門的な話で、難しい言葉や聞きなれない言葉も出て、理解できない部分があった。
- ・事例をもう少し入れてもらえれば、イメージしやすかった。

**【第2回目】**

開催日：平成29年9月29日（金）  
テーマ：『人を生かす力』（従業員が成果を出す教え方・伝え方・関わり方）

**②新入社員・若手社員合同研修の開催 (共催 四万十町商工会)**

講師：吉井裕之氏（ビジネスバンク代表）

**【第1回目】**

開催日：平成29年5月19日（金）  
テーマ：『仕事に必要なコミュニケーション力を養う』  
受講者：12事業所 16名 / 町役場新採職員 11名 計27名

**【第2回目】**

開催日：平成29年7月21日（金）  
テーマ：『方眼ノートを活用して論理的に物事を用紙1枚でまとめる』  
受講者：7事業所 8名 / 町役場新採職員 9名 計17名



受講者アンケート（抜粋）

- ・コミュニケーションの難しさを最近感じていたので、タイプを知ることで考え方が変わり少し楽になりました。
- ・よく分からない時でも取り敢えず手を動かしてまとめることが大切だと分かった。

**課題・方針等**

- ◎ 次年度の事業企画の立案（テーマ設定、講師選定、受講対象者 ほか）
- ◎ 本事業の継続性の確保（関係機関・外部講師との緊密な連携、意思疎通）
- ◎ 事業成果の検証方法・判断基準の具体化